

江戸時代中期以降、弘法大師信仰が盛んになり、「本四国参り」として各地から人々が四国に集まり、札所を巡るようになりました。そこから「篠栗四国八十八ヶ所」のように全国各地に「新四国遍路」が設置され、多くの信仰を集めました。明治時代以降、直方や鞍手にも「六ヶ岳四国札所遍路」「直方四国札所遍路」「下鞍手新四国」等の遍路道が定められました。春秋の彼岸のころ、直方・鞍手の信者たちは講を組み、世話人を選び、白装束に同行二人の笠をかぶり、御詠歌を唱えながら、千人参りをしました。信仰とレクリエーションを兼ねた、楽しみの一つだったと思われます。

直方四国札所遍路

「鞍手四国」として明治37年に創設、昭和42年に「直方四国」と改称されました。直方市と北九州市八幡西区木屋瀬にある、西国三十三ヶ所・四国八十八ヶ所・奥の院三十五ヶ所の157ヶ所を、5日間かけて巡りました。

「直方市史下巻」 NL219ノ
 「九州八十八ヶ所百八
 霊場ガイド」 186.9ハ
 「ある遍路さんの心の旅路」
 N915ノ

六ヶ岳四国札所遍路

明治36年、六ヶ岳を中心に、一番札所の宮田の龍徳竜泉山普賢院から宮田・鞍手・直方にある西国三十三ヶ所、四国八十八ヶ所・奥の院二十四ヶ所を巡る遍路道が組まれました。春秋2回5日間かけて巡礼していました。



下鞍手新四国

明治41年、日清戦争戦死者供養のため、直方古町聞名院の山名徳海、感田村瓜生慈船および門徒衆の発願。直方町・鞍手郡七ヶ町村の信者により遍路道が編成されました。



直方あの頃

昭和40年～昭和45年

直方四国と改称された昭和42年頃、直方市では、どんな出来事があったのでしょうか。また、この年になにが流行したのでしょうか。

昭和40年(1965年)

4月 日の出大橋完成
 この年、モンキーダンス流行

昭和42年(1967年)

7月 五日市が百回を迎える
 この年、ミニスカート、ゴーゴー喫茶流行

昭和45年(1970年)

4月 遠賀川サイクリング専用道路(直方～飯塚)開通
 この年、「黒ネコのタンゴ」流行



山名聴説



古町にあった天台宗寺院の聞名院の住職をつとめた山名聴説は文化8年（1811）に直方で生まれました。聴説は宗教家としてだけではなく、教育者、書家、俳人の顔を持つ、多才な文化人でした。

教育者としては、天保10年に寺子屋を開き、明治8年には直方尋常小学校北校の校長に就任し、児童の教育に力をそそぎました。

また能書家としても知られ、山名頂雪の名で「直方文化商工史」に紹介されています。

俳人としては、山名采霞の名で、明治15年に創刊された俳諧誌「友垣集」に俳句を投稿し力をつけ、小竹の俳人の追悼集「小堂希（おどけ）集」の編集をまかされていることから、筑豊俳壇の第一人者として認められていたことがわかります。

多くの弟子から慕われた聴説の顕彰碑が、隋専寺墓地内に建てられています。



「小堂希集」

小堂希集

明治16年秋刊行 豊前、
鞍手、遠賀、宗像など各地
から200人近い俳人の句
が寄せられました。

「直方市史下巻」NL219ノ
「直方文化商工史」NL302ノ
「直方歴史ものがたり」
N219ノ

はじめの一步 ~郷土資料の紹介~

直方市立図書館にある郷土関係の本を紹介していきます。

郷土の歴史や文化に興味をもっといただくきっかけになればと思っています。

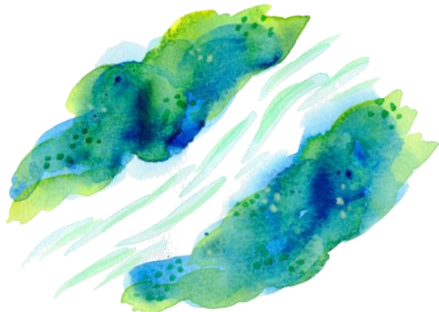
今回、「直方市を知る」の第三弾は、遠賀川についての資料をご紹介します。

『遠賀川 もっと知りたい遠賀川』 NPO 法人遠賀川流域住民の会／N517 千

『遠賀川 美しく豊かなふるさとの川』 建設省九州地方建設局遠賀川工事事務所／N517 千

『遠賀川ものがたり 遠賀川工事事務所50周年記念誌』 ニッセイエプロ株式会社／N517 千

『写真集遠賀川水系の橋』 野間 栄／N515 千



直方市立図書館

直方市山部 301-1 ユメニティのおがた内

TEL 0949-25-2240 FAX 0949-23-3902

<http://www.yumenity.jp/library/library.htm>